

令和6年度第3回学校運営協議会記録

(記録：後藤)

1 日時 令和7年2月25日(火) 10:00~11:10

2 場所 本校視聴覚室

3 出席者

(1)学校運営協議会委員<6名>

会長 地域関係者

副会長 教育関係者

A委員 地域関係者

B委員 PTA関係者(欠席)

C委員 PTA関係者

D委員 医療関係者

E委員 福祉関係者(欠席)

校長 学校関係者

(2)本校職員<10名>

小中分副校長、高副校長、事務長、総括教務主任、総務部主任、生徒指導主事、小学部主事、
中学部主事、高等部主事、しゃくなげ分教室主任

◎学校運営協議会

1 開会(副会長)

2 校長あいさつ

本日は、お忙しい中、出席していただき感謝申し上げます。

今年度の本校の活動についてご説明させていただきますとともに、学校評価の集計結果につきましてもご意見を賜りたいと思っている。また、地域の共同学習においては、小学部平田小学校との交流及び共同学習、小中の鮭稚魚放流、中学部釜中交流、平田地区の方々とのつながるカフェ、高等部釜石商工高校との交流学習、平田公民館まつりへの参加等々実施させていただいた。今後も本校の児童生徒が、地域で生き生きと豊かに自分らしく生活していくための取り組みとして、充実させていきたいと考えている。また、地域を元気にするために本校が貢献できることを考えながら、更に内容を発展させていければと考えている。

3月2日日曜日には、釜石市の地震津波避難訓練があり、本校は拠点避難所になっており、本校の体育館が避難所開設訓練の場となる。平田地区の方々にも場所の確認をしていただく予定となっている。今後、児童生徒と地域の方々との総合避難訓練に繋がっていけばと考えており、一歩前進したように感じている。

次年度の学校経営方針案は、この後の議事の中で進めさせていただくが、児童生徒、教職員の状況や社会の状況を踏まえ、本校で学ぶ児童生徒の皆さんが学校卒業後に地域社会の中で生き生きと生活するために必要な力を確実に育むための形を作って参りたいと考えている。

また、次年度は本校創立50周年を迎える。委員の皆様をはじめ、地域社会の様々な方々からのお力添えをいただきながら、『チーム釜石祥雲』を合言葉に教育活動を展開してまいりたいと考えている。

本日はどうぞよろしくお願いしたい。

3 委員・学校職員紹介（自己紹介）＊書面にて紹介

4 議事（進行＝会長）

（1）学校評価アンケート報告・質疑

＊中館副校長より資料に沿って説明

C委員： 昨年度は、アンケート結果の配付のみであったが、要因分析から改善案までお示しいただきありがたい。2点お聞きしたい。

1点目、保護者の評価が低かった『進路指導にあたっての情報提供』の部分と『家庭や子どもの困り感を理解しながらサービス・医療行政との連携、相談に応じているか』が気になった。自分も職務で生徒の進路指導に関わる仕事に携わっているので、学校側の対応は非常によくやっていると思っている。しかし、その中でこのような回答があるのは、統計的データで見るとよりも、おそらくごく一部のご家庭での捉えであると思うので、個別ケースとしての対応が重要になると考える。この中に小中高の内訳がないのでどの発達段階のお子さんの保護者さんの提案かわからないが、このアンケートの結果は、しっかり担任や進路指導の先生にも共有、フィードバックされているものなのかというところを確認したい。

2点目、今回初めて岩手県の復興教育について副読本や復興絵本というものが岩手県のHPに掲載されていることを知った。見たところ、狙いとしては、防災学習や震災教育ももちろんだが、地域特有の伝統文化や心の復興にテーマを置いているように感じた。今後どのような協働先とどのような取り組みを行っていくのかお考えがあれば聞かせていただきたい。また、小学校の方でも活用事例があればご紹介いただきたい。

⇒（中館副校長）：学校評価については、職員会議でデータを示し共有している。このような部分を職員全体で確認していきたい。副読本の活用については、今年度活用について資料も出している。教務部が担当しているので、教務部へ。

⇒（総括教務主任）：毎年この期間（1ヶ月間）が震災を語り継ぐ期間ということで全県的な取り組みがある。取り組みは学校裁量である。副読本については、期間にこだわらず、避難訓練の前になど、それぞれの場面で活用可能だが、なかなか時間を設定するのが難しい状況である。そこで現在、副読本と絵本を図書コーナーに設置して、職員も子どもたちも手に取れるようにして、クラス毎に活用する期間として取り組んでいるところである。

⇒（副会長）：うちの学校の防災については、市の方で防災の手引きがあり、平田小学校独自の年間計画もある。4月に平田こども園さんとの合同避難訓練、夏休み前に保護者引き渡し訓練、下校時の訓練、中休み中に予告なしの避難訓練というように有事に備えて実施している。それから、生きる・関わる・備えるの副読本を毎月11日の絆の日に必ず活用して、具体の21項目を年間計画の中で段階を踏んで抑えるということを実践している。年1回の研究授業も行い、講師を招聘しての研修も深めているところである。一番大事なのは、防災意識と地域への郷土愛を育むという両輪でやっていかなければならないということではないか。今年から6年生を対象に、海をテーマにして、ヤマキイチ商店に行って、実際にホタテの様子とかわかめの芯取りなどを学ぶことによって、普段は海から恵を受けている素晴らしい地域であるということ、し

かし津波防災ということについても必要な地域であるということ等をきちんと学ぶようにしているところである。海の学習については、キャリア教育も踏まえて、様々な方々の話を聞いたり体験活動をしたりということもして、卒業後につなげるような取り組みもしている。

⇒ (校長)：地域とのつながりについて、まず今ある活動を膨らませていくというところで鮭稚魚の放流を継続し、更に関連した学習に結び付けながら、広げていくことができると考える。あと1点、子どもたちに地域で役に立っているということを知って欲しいという思いがある。同時に釜石を元気にしたいという思い、平田地域を元気にしたいと考える。商工高校の校長さんとも話をしたことがあるが、ここから見える釜石大観音の仲見世通りに、通信の生徒がアンテナショップを作ったというような取り組みもあり、市の方とも協力しながら本校も商工高校さんと一緒にもの作りという共通点を生かしながら地域を盛り上げる何かができるのではないかと考える。仲見世通りのコーヒーショップに本校出身の小林覚さんの壁画もあるが、すごく寂れた状態になっているので、何とか一緒に関わりながら地域を元気にして行くことができればと思っている。

副会長：今年度本校が釜石祥雲さんとの交流を各学年でやらせていただき、地域の学校として交流できたこと、本校児童が祥雲さんの同じ学年の児童と一緒に学ぶ機会を与えられたことを非常にありがたく感じている。職員もとても刺激になっていた。また、学校へ行こう週間を活用させていただき、研修ということで多くの職員を参加させていただいた。参加者からの口頭報告では、支援学校の先生方のきめ細かな支援と温かい呼びかけ、できるまで待つ姿勢などを学ぶことができたということで、ぜひ来年度も継続していただければと思っている。

A 委員：防災に関して、路線バスで通学している生徒の登校途中での避難の仕方は、何か対策を取っているのかということが気になった。あと、県道との交差点に横断歩道ができしたが、これは地域で以前から要望していた件でもあって、今回できたのは、支援学校さんの高等部の生徒の通学路であるということが大きかったようなので、おかげ様だった。先日の防災会議の開催と避難道路の現地調査にも多くの職員に参加してもらい、子どもたちの安全を守るための熱意がすごく感じられた。これからも地域として色々とお世話になると思うのでよろしくお願ひしたい。

⇒ (生徒指導主事)：単独通学生だけの避難訓練は行っていない。口頭でも伝えられることは伝えていかなければならないと思っている。バスに乗車中は、公共交通機関の指示に従うというあたりも説明していきたい。

会長：体力づくりや給食の評価が低い点については、簡単なことではないだろうと思っている。

⇒ (副会長)：給食の会議には安達校長とも参加しているが、味などについても意見を述べてみるが、なかなか対応していただけない感じである。

働き方改革アクションプラン報告・質疑

* 中館副校長より資料に沿って説明

・質疑なし

(2) R6「地域との連携・協働の取組」R7 に向けて

* 小学部・中学部・高等部・分教室の各主事・中館副校長より資料に沿って説明

C 委員：産業育成センターの活用について、初年度から積極的に活用していただきありがたい。とても良い取り組みだと思う。職員の異動があっても継続できるようにしっかり引継ぎを行って欲しい。あと前回の会議で、定植したラベンダーの活用について意見収集があったが、その後何か動きはあったのか。

⇒ (中館副校長)：まだ具体的な動きはないところである。

(3) 令和7年度学校経営方針(案)について

* 安達校長より、令和6年度から改正した点に触れながら資料に沿って提案

・質疑なし

(4) その他

* 地域との災害時の対応についての検討状況について、生徒指導主事より現状報告あり。

・市の防災担当、地域の方、地域の自主防災組織の方、学校の四者で集まり、指定避難所としての役割について市の防災担当から説明を受けた。その際、避難道路についても歩いてみた。途中歩けないところもあり、改善に向けた検討が始まるかと思う。

・3月2日日曜日、平田地区の避難訓練に参加し、本校体育館が指定避難場所になっているので、避難所開設の流れを確認する予定である。

・本校の学校防災研修会が7月末にあるが、そこで市の防災担当、地域の方、地域の自主防災組織の方と本校職員で実際に体育館を利用して、避難所開設の研修を考えている。地域の方々のご協力をお願いしたい。

(5) 提言・感想…各委員から

C 委員：1年間をとおして地域資源を積極的に活用していこうという姿勢がよく感じられたので、今後も引き続きお願いしたい。

副会長：学校評価がとても高いと感じた。本校も頑張らなければいけない。働き方改革については本校も同じ課題である。先生方によく言っているのは、多忙ではあると思うが、多忙感を作らないようにと。充実してやる気を持ってやっているのであればいいが、やらされているというような思いを抱く仕事は省いていくということも大事なのではないかと思っている。

会長：今回、地域や学校を元気にするような取り組みをしていきたいというお話を聞いて、地域としてもそのような活動を一緒に考えていきたいと改めて思った。

- ・校長より：講師不足が切実な問題となっている。今のところは大丈夫であるが、昨年困った部分もあった。年度途中という場合もあるので今後情報提供等お願いしたい。看護師についても1名の欠員がある。週2・3回でフルタイムではないが、もし紹介していただける方があれば、情報提供をよろしくお願いしたい。

6 連絡事項

- ・中館副校長より：今会議をもって令和6年度の運営協議会は終了となる。委員の任用は1年となっているため、令和7年度については改めてお願いする。その際はよろしくお願いしたい。この1年間色々なご意見を頂戴し感謝申し上げます。令和7年度も5月の下旬に第1回を予定している。

7 閉会